

分類番号				
保存期限	1・3・5・10・永			

様式第5号（第5条関係）

議 長	事務局長	事務局員
 清実	 様	 

令和7年3月31日

矢巾町議会議長 廣田



会派名 町民の会

代表者名 水本 淳一



令和6年度政務活動費収支報告書

矢巾町議会政務活動費の交付に関する条例第9条第1項（第2項）の規定により、次のとおり令和6年度政務活動費収支報告書を提出します。

1 収 入

政務活動費 1, 152, 000 円

2 支 出

項 目	金 額（円）	主たる支出の内容
調査研究費	700,490円	大分県臼杵市、豊後高田市視察に係る旅費など
研 修 費		
会 議 費		
資料作成費		
資料購入費		
広 報 費		
事 務 費		
合 計	700,490円	

3 残 額

451, 510 円

備考 政務活動費支出明細書、調査研究等実施報告書、領収書等の写しを添付すること。

（A4）

政務活動費支出明細書（会派名＝町民の会）

（調査研修費・ 1枚のうち 1枚）

No.	支出年月日	件 名	内 容	金額(円)	備 考
1	R6,10,25	調査研修費	① 大分県臼杵市 住みたい田舎 12 年連続ベ スト 3 の取り組みについて ② 大分県高田豊後市 移住定住対策の取組みに ついて	700,490	
計				700,490	

保存期限	1・3・5・10・永		
議 長	事務局長	事務局員	
		 	

令和6年11月29日

矢中町議会議長 広田 清実 様

会 派 名 町 民 の 会
代表者名 水 本 淳 一



調査研究等実施報告書

実施年月日	令和6年10月15日（火）～17日（木）
参加者名	町民の会：水本 淳一、高橋 安子、廣田 清実 藤原 信悦、吉田 喜博、高橋 恵
目 的	大分県白杵市：住みたい田舎12年連続ベスト3の取り組みについて 大分県豊後高田市：移住定住対策の取り組みについて
行 先	令和6年10月16日（水）10:00～11:30 大分県白杵市役所 令和6年10月16日（水）14:00～15:00 大分県豊後高田市役所
対 応 者 又は 主 催 者	町民の会 水本 淳一
概要及び 所 見	別紙のとおり
経 費	700,490 円

調査研究等経費内訳

(会派名＝町民の会)

調査研究費 研修費 (いずれかを○で囲む)					
交通費	交通機関名	経 路	計 算	計	備考
	JR 運賃	矢幅～浜松町	17,820 円×6 人	106,920 円	
	JR 料金	盛岡→東京	6,430 円×6 人	38,580 円	
	JR 料金	東京→盛岡	6,430 円×6 人	38,580 円	
	東京モノレール	浜松町～羽田空港	1,040 円×6 人	6,240 円	
	航空券	羽田→大分	19,510 円×6 人	117,060 円	
	航空券	大分→羽田	19,510 円×6 人	117,060 円	
	タクシー	ジャンボタクシー 1 台 10/15～10/17	29,780 円×6 人	178,680 円	
	レンタカー			円	
	有料道路料金			6,110 円	
	駐車料金			円	
	燃料代			円	
				円	
宿泊料	宿泊日	宿 泊 先	計 算	計	備考
	10/15	ホテル白樺	7,880 円×6 人	47,280 円	
	10/16	ホテル AZ 大分豊後高田店	6,280 円×6 人	37,680 円	
			円× 人	円	
手配料金		550 円×6 人 =		3,300 円	
国内旅行傷害保険		500 円×6 人 =		3,000 円	

合 計	700,490 円
-----	-----------

備考 領収書等の写しを添付すること。

2024年10月8日
観光庁長官登録旅行業第38号
東武トピア・文芸株式会社
盛岡支店
当社は盛岡市盛岡駅前通16-21
盛岡駅前通ヒル4階
代表者 050-9001-8574

2024年10月8日 作成の別紙「旅行内容説明書類」における旅行代金の内訳については下記の通りです。

[illegible]

Copyright © TOBU TOP TOURS CO., LTD. All Right Reserved.



TOBU TOP TOURS CO.,LTD.

領 収 証 RECEIPT

No. 3204 AA 008198
お客様コード 041031

DATE 2024/10/25

RECEIVED FROM

矢巾町 町民の会 様

領 収 金 額

THE SUM FORM

¥700,490※

但し 10/11日発行領収証No. 573643交換発行
FOR ご旅行代金として

上記金額正に領収致しました
The above sum has been duly received

発行者印



※クレジットカードによる領収（お支払い）の場合、印紙税法上の金銭又は
有価証券の受取に該当しないため、収入印紙の貼付は不要となっています。

FORM OF PAYMENT

現 金
CASH

10/11日、10/25日

小切手
CHECK

銀行振込
BANK REMITTANCE

ギフト券
GIFT TICKET

クレジットカード
CREDIT CARD

東武トップツアーズ株式会社

盛岡支店

〒020-0034
岩手県盛岡市盛岡駅前通16-21
盛岡駅前通ビル4階



報告者：町民の会 高橋 恵

視察日時：令和6年10月16日 10:00～11:30

視察先：大分県臼杵市役所

視察項目：移住・定住促進事業について

対応者：臼杵市 地域力創生課 定住促進グループ 総括課長代理 藤本健次氏

臼杵市議会事務局 原 伸行氏

I 目 的

国立社会保障・人口問題研究所が令和5（2023）年12月に公表した資料によると、当町の人口は2020年が28,056人（国勢調査による実績値）であったものの、将来、2030年には26,771人、2040年が24,847人、2050年では22,283人と、今後30年で約5,700人余りの減少が推計されています。

この結果からも、全国では一部自治体を除いて人口減少がさらに予想され、若者や子育て世帯に何とか地方へ移住定住してもらおうと取り組みに力を入れているが、移住定住の促進を図るには、地域の現状と希望者のニーズを把握したうえで、効果的な施策の策定と実行が非常に重要です。

今回、視察先の大分県臼杵市は「田舎暮らしの本（宝島社）全国住みたい田舎ベストランキング2024（3万人以上5万人未満のまち）」で「総合部門第2位、シニア世代部門第2位」に選ばれ、移住支援補助金など様々な支援事業やオンライン移住セミナー&体験ツアーなど、移住定住を促進する施策の現状と課題などについてを調査の目的とする。

II 概 要（2024年4月1日現在）

- (1) 人 口 35,391人
- (2) 面 積 291.20 km²
- (3) 人口密度 121.53 人/km²
- (4) 世 帯 数 16,906 世帯
- (5) 高齢化率 42.1%
- (6) 主な産業 農業・漁業、造船業、醸造業（醤油・味噌）。経済圏は、大分都市圏に属する。

年間予算	R6 予算	移住支援事業費	87,185,000（うち、補助金として 76,140,000）
		空き家対策費	23,028,000（うち、補助金として 21,100,000）
	R5 決算	移住支援事業費	85,353,000（うち、補助金として 78,715,000）
		空き家対策費	17,125,000（うち、補助金として 15,133,000）

Ⅲ 施策内容（主なもの）

(1) 空き家バンク

空き家の所有者と利用者のマッチング、空き家バンク制度（活用促進補助金・改修補助金）

(2) 臼杵体感

オンライン移住イベント、体験モニターツアー、おためしハウス、
移住者交流会または交流ツアー

(3) 移住支援

移住支援補助金、定住促進住宅取得補助金、若年・子育て世帯家賃補助金、
Uターン支援住宅改修補助金

(4) 定住支援

移住定住サポーター、移住者交流会（つながりミーティング）、定住促進住宅補助金、
新婚生活応援

Ⅳ 所 感

臼杵市に対しての事前質問の回答が、とても詳しく丁寧に回答されていたので、関係各課が連携して効率よく取り組んでおり、やはり、今後取り組むべき本町の課題には、窓口である各課の連携や協力体制が必要不可欠であると感じた。

また、住宅新築や購入の補助、引っ越しや家賃の補助などの移住者居住支援事業の他、妊娠中の医療費（保険診療分）0円、保育所・認定こども園の保育料0円など子育てに関する様々な制度も充実している。

今後、臼杵市の施策を参考に、移住定住施策を推進していくための課題として、

- ①助成制度の創出、町内企業などとの連携強化による若者・子育て世代のUターン促進
- ②空き家バンク利用に対しての支援制度や、仲介業者制度などの早期設置
- ③自治会など地域コミュニティと連携した受け入れ環境の整備

臼杵市と矢巾町とでは地域性や環境に差はあるが、上記の点を踏まえ、政策提言の参考にしたい。

概要及び所見

町民の会調査研究等実施報告書

高橋 安子

- 1 視察先
大分県豊後高田市
- 2 研修事項
住みたい田舎 12 年連続ベスト 3 の取り組みについて
- 3 対応者
豊後高田市役所地域活力創造課
小野 政文 課長
- 4 豊後高田市概要
 - 豊後高田市は、平成 17 年 3 月 31 日に旧豊後高田市、真玉町（またま）、香々地町（かかじ）の 1 市 2 町が合併し豊後高田市となった。令和 6 年 3 月現在の人口は 21,753 人で高齢化率 38,2%とのこと。
昭和 25 年から 50 年間で 20,000 人減少したが、移住・定住支援を開始した過去 10 年間では、1,339 世帯、2,930 人の移住があった。
 - 『住みたい田舎』12 年連続ベスト 3 にランクインしている要因として
 - ① 空き家バンク事業を展開し、「空き家」や「空き地」の有効活用を考えている所有者へ移住希望者に紹介できる「空き家バンク」への登録を呼びかけた。
（登録する場合に問題となる家の荷物や修繕の必要、仏壇が残って居る物件についても登録可能とした。）
 - ② 空き家リフォーム事業として、空き家バンクの利用者が空き家機能向上のための改修や不要物の撤去費用の一部を市から補助。

- ③ 空き家マッチング奨励事業として、空き家物件を登録してもらえる物件を市に紹介した場合、紹介者に奨励金 2 万円を支給。
- ④ 他に多種の引越しにかかる応援金等の補助や転入した方の住まいの新築・リフォーム等にも補助金が出る。
また、子育て支援や教育支援等も充実。
子育て教育支援としては、国の支援制度の枠を外し、高校授業の無償化とし、今後は更に地元高田高校の昼食の無料化を検討中。
- ⑤ 令和 5 年まで過去 10 年間での移住件数は、1, 339 世帯 2, 093 人の移住
- ⑥ 毎年 1 月 10 日を「移住の日」として設定し、市長との意見交換を実施している。

5 所 見

本町でも子育て支援等の施策に関しては、取り組んでいるところであるが、空き家対策については、かなり遅れている状況である。

現時点に於いても、核家族化や高齢化により空き家が増加している状況であり、早急に対策を講じる必要がある。

この空き家活用については、豊後高田市を参考に「空き家バンク」への登録を促し、移住・定住支援の取組みを考えてはどうか。